

湖東普及だより

H25
春号

編集発行 滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：田口稔幸）
〒522-0071 彦根市元町4番1号
TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp
ホームページアドレス：http://www.pref.shiga.lg.jp/hikone-pbo/nogyo/

ナバナの出荷はじまる！！ — あなたも栽培してみませんか？ —



露地栽培ほ場の様子



水稲育苗ハウスでの栽培



栽培ほ場での出荷研修会



出荷されたナバナ

今年度、当課とJA東びわこで栽培推進を行ったナバナの出荷が、昨年末から始まっています。これは、県内市場からの要望により昨年度から行っている取り組みで、今年度は湖東管内全域の13戸約90aで栽培されており、定期的なほ場巡回や栽培資料の配付など全面的に技術支援を行ってきました。ナバナは、水稲等の作業が少ない冬期（12～3月）に長期間継続的に出荷できる数少ない品目の一つで、収穫に手間はかかりますが収穫物が軽く面積あたりの収益が高いのが特徴です。露地栽培が基本ですが、水稲育苗ハウスでの栽培もおすすめです。

まだまだ栽培面積が少なく、市場からの要望に応えられていないのが現状ですので、興味のある方は次年度栽培・出荷してみてもはいかがでしょうか。

水稲育苗ハウスで栽培できる園芸品目

— あなたも始めてみませんか？ —

野菜や花、果樹といった園芸品目を栽培する上で、ビニールハウスがあれば天候の影響を受けにくく、秀品率が向上したり、生育を促進させ出荷時期をずらすことが可能です。しかし、新規にビニールハウスを設置するには7.5 m × 50 mの大きさを補強とカーテンがない仕様でも材料費と施工費をあわせて150～190万円程度を見込んでおく必要があります。

その点、空いている水稲育苗ハウスを利用すれば、ハウス設置の経費を抑えることができます。今回は水稲育苗ハウスを利用できる園芸品目を紹介します。

野菜

集落営農組織や水稲大規模経営で、野菜栽培への取り組みが始まり、野菜の新しい担い手として期待されています。

おすすめの品目は・・・省力、軽量、価格がとれる

① 市場出荷向け

栽培が簡単で、女性や高齢者でも収穫がしやすい秋冬野菜、**ブロッコリー、ナバナ、小カブ**がおすすめです。これらの品目は、既に栽培されていますが、市場からは、今以上に出荷を要望されている品目で、これから管内で面積拡大を進めていく品目です。

露地でも、ハウスでも栽培できる野菜ですが、ハウス栽培では、寒さによる品質低下が少なくなるため、露地栽培よりも品質の良いものが、年明け以降も出荷できます。

水稲の育苗ハウスを野菜栽培に活用できれば、出荷量もまとまり、一つの産地として、市場での有利販売が可能になります。

② 直売所向け

まだ直売所向けの出荷が少ない品目として、**10～11月どりのスイートコーン**があります。

防虫ネットを張ったハウスで栽培すると、害虫や鳥の害が少なくなり、立派なスイートコーンが収穫できます。ハウスでは、8月上・中旬播種で、10月下旬から11月中旬に収穫となります。

スイートコーンは、収穫後、急速に糖分が低下しますので新鮮さ勝負で、地域の直売所限定の商品にできる品目であり、地場産の優位性が発揮できる野菜です。



作 型 (凡例：○播種、▽定植、□収穫)

月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12																							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
コカブ ハウス 秋冬どり																												○												□	□																
スイート コーン ハウス 秋冬どり																																								○															□	□	□

花

ストックの秋冬出荷栽培

ストックは、秋から春にかけて花を咲かせるアブラナ科の切り花です。極早生系統の品種を用いると8月中に播種しハウスで栽培すれば年内に収穫できます。暖房の必要はありません。労力を最も必要とする時期は収穫を行う11～12月、次いで定植作業の9月です。



栽培のポイント

- 1) 一本立ち品種とスプレー（枝咲き）品種があります。スプレー品種は比較的開花時期に幅があります。いずれも夏の暑い時期に育苗するので、できるだけ涼しい場所で管理します。
- 2) 一般的に同じ品種でも一重咲きと八重咲きが半数ずつ現れます。苗の段階で選別して商品性の高い八重咲きの割合を高めめます。品種は限られますが選別がいらぬ八重率の高い品種も販売されています。
- 3) 栽培期間が短く、水稲育苗の閑期利用が可能です。また、アスター、ヒマワリ、トルコギキョウなどの夏作品目と組み合わせれば、年間2作のハウス利用が可能です。

作 型 （凡例：○播種、▽定植、□収穫）

月	7			8			9			10			11			12			1			2			3					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ストック				○					▽							□	□	□	□	□	□									
					○				▽							□	□	□	□	□	□									
						○			▽							□	□	□	□	□	□	□	□	□						

果 樹

軽量培土によるイチジクのポット栽培

この栽培方法は25～30%の不織布ポットに、馬糞チップ堆肥と、もみ殻くん炭を混ぜ合わせた培土でイチジクを栽培するため、軽量で持ち運びが可能です。

育苗時にポットを外に移動させることで水稲育苗ハウスの遊休期間を活用できます。品種は「柵井ドーフィン」を用います。2月下旬～3月にさし木で苗木を育てた後、ポットに定植し、5月末頃育苗ハウスに移動させると、定植1年目は10月、定植2～4年目は8月下旬～10月下旬に収穫できます。ただし、定植4年目の収穫後には植え替えが必要です。



イチジクは比較的作りやすい果樹ですが、果実は日持ちがしないので事前の販売先の確保がとても重要です。また、イチジクのポット栽培は培土が乾きやすいため自動かん水装置が必要です。

作 型 （凡例：×せん定、▽新梢管理（芽かき、誘引等）、□収穫、☆施肥、▲ポット搬入・搬出）

月	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
イチジク 軽量培土 ポット栽培					×																						
						▲			▽	▽	▽	▲	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	□	□	□	□	□	□	□	□
						☆			☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆						

詳しい内容は当課までお問い合わせください。

農業排水対策：琵琶湖へ泥水を流さないため、 春作業に向けて、もう一度確認ください

- ①水を入れる前に、あぜ塗り機で畦畔をあぜ塗りする
- ②あぜ塗り後に、あぜ際をトラクタ後輪で踏みしめる
- ③水を入れる前に、尻水戸を土でふさぐ
- ④排水路に水が漏れていないか確認する
- ⑤浅水代かき（土が見える割合70～80%）のため、必要以上に水を入れない
- ⑥最初の代かき作業は、周囲から丁寧に行う
- ⑦田植え前などに、強制落水は絶対にしない



安全確認を徹底し、農作業事故を無くしましょう

県内では毎年、約40～70件の農作業事故が発生しており、特に乗用トラクターによる転落転倒事故が多く、移動中やほ場出入り口で多く発生しています。作業中に「ひやっと」「はっと」したことはありませんか？安全確認を徹底し農作業事故を無くしていきましょう。

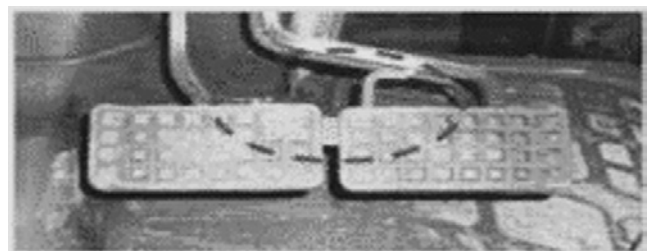
◎安全キャブ・フレーム+シートベルト着用で安全確保

転落転倒事故のうち安全キャブ・フレームが装備されたトラクターでシートベルトを着用していた事例では全て軽傷で済んでおり、安全キャブ・フレーム+シートベルト着用で救命効果が高くなります。特に可倒式フレーム装着車はしっかり立て固定しているか作業前に点検しましょう。



◎ブレーキペダルの連結を確認しましょう

転落転倒事故の多くが操作ミスによるものと言われています。特に、ほ場から出た時の事故は片ブレーキによる事故が多いと考えられます。



○作業が終わり、ほ場を出る前に必ずブレーキペダルを連結しましょう！

◎滑らないように靴底の泥は落とす

泥で靴底が滑り「ひやっと」したことはありませんか？機械操作の前に滑らないか確認しましょう。

◎機械作業を中断するときはエンジン停止！

エンジンやP T Oを止めずに巻き込まれた事故が多く、止めていたら防げた事故がほとんどです。必要な時はエンジンを止められるように作業前にバッテリー交換（充電確認）をしておきましょう。

☆県内外で農業機械の盗難が相次いでいます。保管にご注意ください。